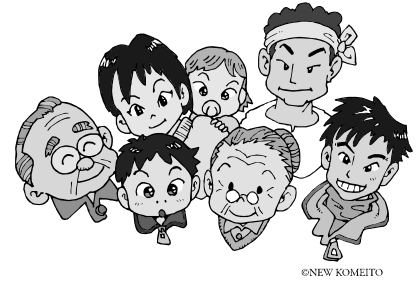


問：**地域福祉活動計画について** 社会福祉協議会の地域福祉活動計画の内容は、どのように考えているか伺う。

答：<鈴木市民福祉部長> 小学校区や総代区のような小さな単位での社会福祉協議会（地区社協）の創立を重点項目としている。策定される活動計画に沿って、複数の地区社協が、市や総代区と連携協力し、各地域の特性に応じた地域福祉の骨格といえる組織を形成していくと考えている。



問：**蒲都市の公共施設の課題に適切な対応** 公共施設の老朽化や設備、機能の陳腐化が指摘されている。今後、こうした施設を整備していくためには大きな財政負担が予想される。所管施設の現状と課題はどうか。

答：<稲吉教育部長> 学校教育施設は平成19年度までに体育館の耐震改修工事を終え、校舎については、渡り廊下や下足棟を含め平成24年度までにすべての改修工事を終える予定である。今年度は12月補正予算により23年度に実施予定の小中学校6校の耐震改修工事を前倒しして実施する。耐震改修工事完了後の平成25年度以降は、プールの濾過機、配管、プール槽の内部の改修や体育館の床、照明、運動設備などの大規模改修を計画し、順次実施していきたい。



問：**蒲都市公共施設白書の策定を** 公共施設の多くが老朽化しており、このままの規模の維持には膨大なコストがかかる。そこで主だった公共施設の現況調査等を実施し、施設の概要、利用状況、コスト状況などを総合的な現状分析としてまとめた白書の策定はどうか。

答：<山口総務部長> 公共施設の現状把握は大変重要である。策定に向けて研究していきたい。



## 市民相談・生活相談はお気軽に！

※法律相談・よろず相談・市政に対するご意見等

連絡先：松本まさなり  
 市役所：0533-66-1169  
 自宅：0533-57-6999  
 携帯：090-2921-0998

